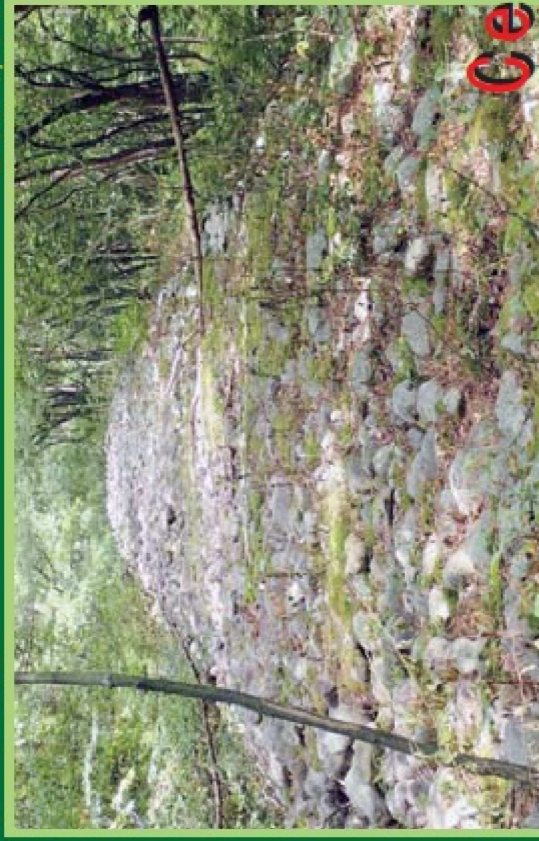


## 乳川石堤

DfFI/Tr



Ver.1.0(2019.03)

## 災害伝承 DATA

所在地：長野県大町市常盤西山  
緯度・経度：北緯 36 度 27 分 2.0 秒  
東経 137 度 49 分 55.0 秒  
伝承形式：土木構造物・工事  
種類 / 要因：土石流、洪水 / 集中豪雨  
災害発生：1816 年（文化 13 年）8 月  
建立時期：1817 年（文化 14 年）  
指定等：砂防指定地  
周辺地形：山地・扇状地



観光情報はこちら

### 史実・伝説

乳川では古来よりたびたび土石流や洪水が発生し、流域に被害を与えてきました。石堤は長さ 280m・中心部の高さ約 5m・下部の最大幅 15m・上部の幅最大 7m の台形断面で、西山村と須沼村の人々により築造されました。

### 周辺案内

近くには国営アルプスあづみの公園 大町・松川地区があり、さまざまなレクリエーション活動ができます。公園内には、乳川氾濫の跡や土石流で流されてきた巨石、乳川石堤の半分が残されており、それらをめぐることができます。石堤は、公園の南東部から外周道路を隔て外側にも残されています。